

# 平成20年度 第63回国民体育大会 関東ブロック大会 バasketボール競技

平成 20 年 8 月 16 日 (土)

試合開始 14:50

試合終了 16:25

【成年女子】1回戦

鐘山スポーツ公園 総合体育館

Cコート 第4試合

埼	玉	78	$\left\{ \begin{array}{l} 19 - 12 \\ 23 - 8 \\ 13 - 24 \\ 23 - 20 \\ - \end{array} \right.$	64	群	馬
---	---	----	---	----	---	---

## 埼 玉

番号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	関根 静香	3	1	4	0	0	0	0	1	2	1	3	1	1	1	2
5*	早野 光砂	18	0	1	8	14	2	3	4	2	7	9	1	2	1	2
6	細川 久美	1	0	2	0	8	1	2	1	2	1	3	0	1	0	2
7*	高島 美希	6	0	1	2	2	2	2	1	3	0	3	3	0	0	0
8*	早野 光星	5	0	0	2	4	1	2	3	5	5	10	1	2	2	2
9*	大島 弘美	5	1	6	1	5	0	0	3	2	2	4	1	0	0	1
10	田村 美奈	4	0	2	0	1	4	7	1	3	1	4	1	2	0	1
11	長部 沙梨	26	0	0	9	19	8	14	2	5	5	10	0	3	0	4
12	小山 沙織	5	1	3	1	3	0	0	1	4	1	5	0	1	0	0
13	秋田 佳緒	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	中澤 朋美	3	1	4	0	1	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0
15	小高 朋子	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC 根本 靖雄 / チーム		0								0	0	0				0
合 計		78	4	26	24	58	18	30	19	28	24	52	9	12	4	14

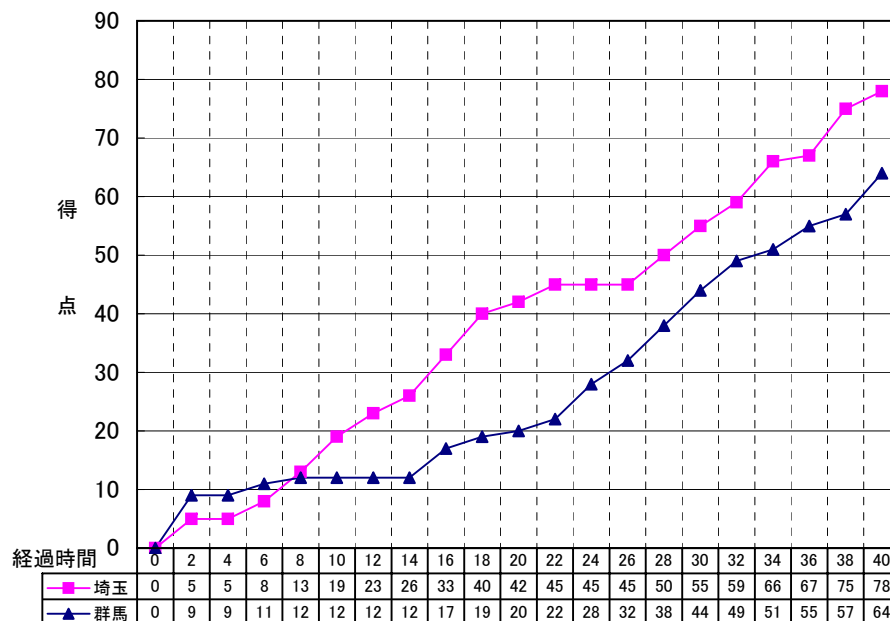
\*はスターティングメンバーを表す 確率 15.4% 41.4% 60.0%

## 群 馬

番号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	尾花 美恵	12	2	5	3	8	0	0	4	4	1	5	4	0	0	3
5	岩崎 睦	7	2	3	0	3	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0
6	原田 薫里	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
7	岡本 桂子	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	0	0	1
8	高橋 葉月	4	0	0	2	4	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0
9	神戸 呂味子	10	0	0	5	8	0	0	2	0	1	1	1	1	0	3
10*	松浦 可奈	4	0	2	1	1	2	4	5	3	1	4	1	2	0	7
11*	飯塚 めぐみ	7	1	1	2	4	0	0	2	1	0	1	2	2	0	3
12*	金谷 春恵	7	1	1	2	4	0	1	2	2	4	6	1	1	0	1
13	大須賀 彩	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	橋本 奈菜子	0														
15*	井上 佐知子	13	0	2	2	10	9	10	4	11	0	11	2	0	0	3
HC 窪田 智弘 / チーム		0								0	0	0				1
合 計		64	6	14	17	43	12	17	23	25	8	33	13	6	0	22

\*はスターティングメンバーを表す 確率 42.9% 39.5% 70.6%

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

(第1ピリオド) 両チームともハーフコートマンツースタート。序盤は群馬が#4尾花の連続得点などでリードする。残り2分、12-8群馬リードの場面で、埼玉#14中澤の3Pが決まり流れが変わる。その後、埼玉#11長部のインサイドで逆転し、そのまま19-12埼玉リードで終了。  
 (第2ピリオド) 序盤から埼玉が#5早野、#8早野のインサイドを中心に攻め、残り5分時点で30-15とリードする。群馬もメンバーチェンジなどで流れを変えようとするが効果なく、そのまま42-20埼玉リードで終了。  
 (第3ピリオド) 序盤から群馬がペースをつかみ、#9神戸の3連続得点などで点差をつめ、残り3分で45-35まで詰め寄る。その後、お互いに得点を重ね55-44埼玉リードで終了。  
 (第4ピリオド) 群馬がディフェンスを2-1-2ゾーンに変更するが、埼玉が冷静に対応し逆に群馬のミスについて残り7分で65-49とリードを広げる。その後もリードを保ち、埼玉が78-64で勝利した。

主 審 東 祐 二  
(本部)

副 審 肥 後 早 織  
(山梨)

記入者 渡 辺 世 一  
(山梨)